

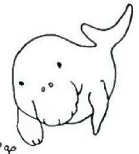


# ジュゴン Vol.73

## ちゃんぷるニュース

**SDCC 2014. 3. 25**  
Save the Dugong Campaign Center

### CONTENTS



- 2/3 情勢/埋立阻止へ連帯を
- 2/14 沖縄県庁包囲行動
- 4/5 フォーラム「海の自然保護最前線」
- フィリピン・スタディツアー報告
- 6/7 名護フラワーフェスティバル
- 原発事故共同行動
- おきなわ便り

3月の沖縄へ行ってきました。多くの出会いがあり、お話しを聴かせて頂きお世話になりました。厳しい現状とともに新しい風も感じた旅となりました。

「基地さえ、軍備さえなければ…」「辺野古に基地がきたら、沖縄は全滅するよ、前よりもっとひどいことになるよ、だから反対してね」とおじいおばあは言う。伊江島・わびあいの里の謝花悦子さんは「時間がないが、権力に抗うためには一人ひとりに語りかけ政治を変えていくこと」と力強く語られた。戦争国家に突き進んでいる今の日本にどの言葉も重く響く。赤嶺和伸さんの自宅屋上から見た普天間基地、すぐそばに小学校がある。普天間でも伊江島でもオスプレイは飛んでいた。

辺野古テント村にはなじみの顔、一緒にお昼を食べた。来訪者は増えていて、若い人も多いそうだ。辺野古の浜のフェンスに寄せ書きしたバナーを結んだけれど…、2時間後には盗られてしまった。最近MP（軍警察）が盗っていくそうだ・・・悔しい。

## 海どう宝 ～平和の観光スポットへ～

わんさか大浦パークではフラワーフェスティバルが開催されていた。今年で2回目。広場では地域の人たちがフリーマーケットを出している。私たちはオープンガーデンに参加してみた。久志・辺野古～瀬嵩・天仁屋の27軒が自慢の庭を開放している。ゆんたく好きの88歳のおばあの庭を訪れたら、ほんとにゆんたく好きで手作りのお菓子も頂き、貴重なお話を聴くことができた。こんな催しができるなんてすごいな。稲嶺さんを再選させた名護市民の思いは、暮らしにも表れてきているのだと感じる。基地にたよらない暮らしが進んでいる。

ジュゴンの見える丘から眺めた海は陽光にキラキラ輝いていた。この海には竜宮神ジュゴンが棲んでいる。ただそこに在るやんばるの森と海、それはほんとうに宝物。

観光客がどっと押し寄せてほしくはないけれど、未来へ平和を紡いでいく場に、自然を感じ癒される場に、辺野古の海が平和の観光スポットになればいいな。

(関西 池側恵美子)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)



伊江島「わびあいの里」で、又チドゥタカラの家の館長 謝花悦子さんと（本面）



バイバイ原発3・8きょうと（6面に関連記事）  
集会でバナーにメッセージを集めデモに参加

情勢

# 「埋め立て阻止は可能～今こそ、沖縄連帯を」

## 1. 安倍内閣は焦っています

4月にヘーゲル米国防長官、オバマ大統領が来日します。安倍内閣は首脳会談で7月海底ボーリング調査、年内の埋め立て開始を明言するために、住民対策を焦っています。2004年のボーリング調査が住民の反対で中止に追い込まれたために、今回は「刑事特別法」の適用を検討しています。海底ボーリング調査に反対する住民が米軍キャンプシュワブ沖合の提供水域(10キロ)に入った時に逮捕し、工事を強行するための準備なのです。

## 2. オール沖縄の再建へ

昨年末、沖縄出身の国会議員5人や自民党沖縄県連が「普天間基地の県外移設」の公約を踏みにじり、仲井真知事が埋め立て承認をしました。その後、宜野湾市長や宜野座村長などが「現実的対応」と沖縄県民に背をむけています。しかし、1月には沖縄県議会が仲井真知事に辞任要求決議を突きつけ、名護市長選挙で稲嶺市長が大差で当選。2月那覇市議会では、翁長市長が県外移設に向けてオール沖縄の再建を呼びかけました。11月沖縄県知事

選挙で保革を超えた県外移設をめざす統一候補の選考でオール沖縄の再建が始まっています。

## 3. 沖縄連帯の闘いが重要

普天間基地の辺野古移設に反対する17年間の闘いは、オール沖縄の闘いに高まってきました。米国内の世論も変わってきました。オリバー・ストーン監督ら100名の知識人は沖縄県民を支援する声明を発表しました。稲嶺進名護市長の再選で「(日米両政府は)沖縄に不当な負担を強いるものであってはならない」(ニューヨークタイムス社説1月27日)との声が高まっています。稲嶺名護市長は弁護士・学者による「辺野古埋め立てに係る市長懇話会」を立ち上げ、市長権限で埋め立て工事を一日でも遅らせる闘いを始めました。私たちは国際自然保護連合(IUCN)大会での「沖縄ジュゴン保護を求める決議」をふまえて、IUCNへの働きかけを強めています。ジュゴン訴訟の再開で、埋め立て工事に係る車両などの進入を差し止める訴訟も開始します。7月海底ボーリング調査を阻止することは十分可能です。今こそ、本土での沖縄連帯の闘いが重要です。周りの人々に署名などで語りかけることから始めましょう。



オリバー・ストーン監督をはじめ100人を超える世界の識者、文化人らが、沖縄の地元住民による新基地建設拒否の決定を支持。そして、その声明は、「ネット署名」となり世界に広がり、賛同者を募っています。下記サイトから、署名にご協力を！

<http://chn.ge/1glVJSw>

名前、メールアドレス、郵便番号を入力し、賛同ボタンを押すだけでOKです。



2/14埋め立て承認撤回、知事の辞任を求めて沖縄県庁に、2000人の市民が集まりました。







## 「本土での闘いの強化を！」求めた1.29集会

「沖縄を再び戦場にするな 辺野古の海の埋め立てを許さない～辺野古新基地建設反対1・29集会」が都内でありました。

平和フォーラムと辺野古実行委員会が共催、ホールやロビーは500人を超える参加者で溢れかえりました。反原発や秘密保護法を闘う人々も参加し、名護市長選挙の勝利で励まされたと闘う意欲がいつそう盛り上がる集会になりました。

沖縄からの訴えは、ヘリ基地反対協共同代表の安次富浩さんと、沖縄平和運動センター議長の山城博治さん。安次富さんは「辺野古・大浦湾に新たな軍港をつくらうとしている」「軍事基地建設に3000億円の建設国債を使うなら、フクシマの被災者にこそ使うべきだ」と安部内閣を批判しました。山城さんは、公約を無視した沖縄自民党や仲井真知事を厳しく批判、「戦争準備を進める安倍

内閣に命を懸けて闘う稲嶺市長を断固支援する」  
「2月11日に訪沖するケネディ大使への抗議行動や、2月沖縄県議会のボイコットを闘いぬく中でオール沖縄を再建する」と、本土でも反戦・反ファシズムの闘いをともに闘うことを熱く訴えました。そして、沖縄等基地問題議員懇談会代表の近藤昭一衆議院議員からも連帯のあいさつがありました。  
(事務局 蛭川義章)



埋め立て反対の署名とジュゴングッズを販売  
マスコットのほか、ジュゴンはし置きも人気☆

## 沖縄県議会開会日、県民は仲井真知事を包囲した — 2.14県庁包囲県民大行動 —

2月14日、仲井真知事が辺野古埋め立て承認し、承認反対の稲嶺名護市長が再選されてはじめての定例県議会が始まった。同日昼休み時間に、「辺野古埋め立て承認を取り消せ！」「公約違反の責任を取って辞職せよ！」県庁包囲県民大行動がもたれた。1月の臨時県議会で辞職要求決議を突き付けられた仲井真「知事」の議場入りに合わせて、傍聴席からヤジが飛ぶ。

議会開会冒頭、「知事」の所信表明の前に緊急動議が発せられた。「普天間飛行場代替施設建設事業に係る公有水面埋立承認問題等の調査に関する動議」だ。いわゆる百条委員会の設置動議。この百条委員会の設置動議は与党からの妨害を防ぐため、野

党中立会派が秘密裏に準備を進めてきたとのことであった。

提案説明で一旦休会となり、県庁包囲県民行動へ。参加した各県議会派から百条委員会への決意が述べられ、各運動団体からは「県議会と市民運動がしっかり連携し闘おう。稲嶺市長が海外特派員協会で講演し、海外マスコミも関心を示し始めている。この闘いは国際的な闘いへと広がっている。これ以上仲井真を知事の座においておくわけにはいかない」との怒りが表明された。県庁を包囲した約2000人の市民は「承認撤回」「辞任せよ」のボードをかかげ、県庁に向けシュプレヒコールを繰り返した。

(沖縄 高垣喜三)

埋め立て STOP!  
ジュゴン保護区を☆

＜真の保護区へ～環境省の3月重要海域発表＞

2月1日、都内で海の生き物を守るフォーラム「海の自然保護 最前線！！～海の生き物を守れない日本のシステム」が海の生き物を守る会、日本自然保護協会の共催、IUCN-Jの後援で開催されました。2010年生物多様性条約第10回締約国会議（議長国・日本）において採択された「愛知目標」の目標11「沿岸および海域の10%を保全すること」に反して、沖縄・辺野古沿岸域の埋め立てが承認された今、意義あるものとなりました。



海の生き物を守る会代表の向井宏さんは、日本政府の言う「海域の8.3%が海洋保護区」は、漁業権海域を取り込んだもので真の保護区ではない。3月に環境省が発表する生物多様性を保護するための重要海域の選定結果の問題点を議論し、真の保護区に発展させることを提案しました。

安部真理子（日本自然保護協会）さんは「沖縄・辺野古の海のこと」と題して、米軍基地建設にかかわる環境アセスメントや埋め立て申請承認が非科学的な手続きで行われたことを報告しました。また、アオサゴ群集での自主ルールによる保全と管理の試みを紹介しました。

休憩後のパネルディスカッションでは「環境省、水産庁などの縦割り行政の問題」や「漁業における科学技術の進歩が、漁業の社会システムと矛盾を起こしている」など問題点が指摘され、漁業の先進国では「乱獲は時代遅れ、保護区が生産量を増やす」ことが常識になっている。市民主導の保護区づくりが提案され、それが乱獲の規制となることなどが提案・確認されました。

（事務局 蜷川義章）

3/1 京都・環境教育ミーティング参加報告

3月1日、龍谷大学深草キャンパスで開催された第10回京都・環境教育ミーティングに参加してきました。オープニングセッションでは、「これからの環境教育を考えるとグローバル（グローバル+ローカル）だけでなく、ナショナルな視点（国の政策への関与）が必要」とのお話があり、「大変だけどそこが重要！」と共感しました。

全体の参加者は300名ほど。各部屋に分かれて38の事例発表が行われました。“日本酒と京料理から和食文化を考えよう”“コンビニ弁当の食材輸入先から世界の格差を知ろう”など興味深いテーマが並んでいました。SDCCからは、沖縄ジュゴン保護は、ジュゴン1種を守ることにとどまらず、多様性の海を守り平和で豊かな地域づくりの取り組みであることを報告しました。「SDCCってどんな団体？」「沖縄ジュゴンの未来は？」など質問もたくさん出ました。



SDCCからの事例報告は、正阿彌崇子と山根のふたりから。ジュゴン帽子をかぶっての報告は注目！？

最後に参加者全員が4人ずつのグループに分かれて意見交流をする時間が持たれ、初対面の方々とも知りあえる良い機会になりました。

（関西 山根富貴子）



フィリピンのジュゴンの海から～



# ジュゴンスタディーツアーに参加して

2月21日から25日まで、海の生き物を守る会が主催するジュゴンスタディーツアーの前半に参加しました。ツアーではフィリピンのダバオオリエンタル州マテ市にある2つの湾のジュゴンと海草（うみくさ）の調査を見学しました。この調査は東京大学とフィリピン大学の共同研究で、船を使い、ジュゴンが食べる海草の種類や繁茂、食み跡を海上と海中で調べました。調査とツアーの参加者は日本人6人、フィリピン人3人で、マテ市では地元の団体と一緒に調査をしました。

私は船につかまりながら、海中をのぞいた景色に魅せられました。海底に生える海草、ところどころサンゴがあり、魚たちも泳いでいます。それはまるで、空から草原を眺めているようでした。大きなジュゴンが優雅に泳ぎ、海草を食べている姿が目につかび、なんて美しい光景だろうと思いました。私はかすかにしかジュゴンを見られませんでした。ジュゴンが棲むその海を覗いただけで、海の偉大さと、

水中でのジュゴンの食み跡調査



調査とツアーのメンバー

それを壊そうとしている人間の愚かさを改めて感じました。

また、私にとってこのツアーの収穫は、研究者や地元の方との出会いでした。まだ、生態のよくわかっていないジュゴンを地元の人だけで、お金をかけず調査し、守り続けることはできません。マテの場合、ポイントは人でした。住民、大学、市、州、国に顔が広く、海洋生態の研究者でもあるレアさんと住民のリーダーであるジュンさんが信頼し合い、活動を進めていました。そして、保護活動がただ慈善活動として行われているのではなく、地域課題である若者の飲酒や薬物の問題の解決や地域産業である観光と結びついている点も重要だと思いました。

今回のツアー報告会を5月11日大阪で行います。ツアー後半のマリタではジュゴンがよく見えたそうです。是非、報告会にお越しください。

（関西 正阿彌崇子（しょうあみたかこ））



調査船



ジュゴンマスコットをもらってうれしそうなレアさん

2月は色々な環境イベントに参加しました。

左：2/15-16 I-site ならばで開催されたにじゅうまる COP1で。分科会「どうなる？どうする？海の保護地域」に参加

右：2/8「すいた環境フェスタ」にブース出展。ジュゴンクイズが大人気☆



向井宏さん

阿部真理子さん





参加報告

# さよなら原発関西行動に参加して

3月9日、大阪の北区民ホールと扇町公園で開催された、さよなら原発 関西行動に参加しました。

午前中はホールでの講演会と公園でのイベント。私は午前中から公園でジュゴン帽子をかぶって署名活動。ほとんどの方が快く署名してくださいました。

正午近くなると、様々な手作りゼッケンやバナーをもった市民が公園に集まってきます。労働組合の旗もたくさん立ち上がりました。

午後からの公園での集会。7000 名が集まりました。3/11 後、大阪では最も幅広い参加です。19 団体個人のアピール、子どもたちの歌とアピール。小出裕章さんは

「政府は福島をわすれさせようとしている。わすれてはいけない。」と発言しました。

三年経っても、原発事故は何ひとつ解決していません。

「基地も原発もいらない！」キャンペーンをいっそう強めて行きたいと思います。

(関西 松島洋介)



# ジュゴンの祟り? ~こらむ・こらむ~

日本は美しい国、瑞穂国であると安倍晋三はいう。まるで神話の国は美しいと言わんばかりだ。とにかく自虐史観に囚われている現状を打破し、誇りの持てる国、戦前と同じく天皇を神と崇める皇民の国を取り戻すことが彼の夢であり、政治家としての使命であるようだ。だがしかし彼のそのような夢が、日本人を再び不幸のどん底に落とし入れることになる。

彼は第一次安倍内閣のときに、先ず夢の実現に向け教育基本法を改悪した。しかし彼には改悪したとの認識がない。そのことで学校現場が混乱して、子ども達に不幸をもたらしていることを認めようとはしない。愛国心教育を徹底し、「日の丸」を掲げ、「君が代」を歌うように仕向け、天皇を尊崇してその神威に全国民が従う、そのような国こそあるべき日本の姿であり、「美しい国日本の姿」だというのである。

彼はそのような日本を実現し、真の独立を果たしたいと考えているようだ。ということは、安倍晋三は日本が真の独立国家ではないとの考えに立った上で、日本国憲法も GHQ のマッカーサー総司令官の押しつけたものだから、現憲法を変えるべきであると言っているという

ことになる。

そして安倍晋三は彼の祖父岸信介や昭和天皇がマッカーサーによって救われたということを知ってか知らずか、東京裁判は連合国側の一方的断罪であったと主張してはばからず、昨年 12 月仲井真沖縄県知事に辺野古埋立承認の芝居を打たせたその翌日に、靖国神社を参拝してみせたのであった。

しかしこれには、さすがの米国政府も困惑し失望する事態となった。一体、昭和天皇を救い、戦後日本の民意を汲み取って天皇制存続を認めてあげたのは誰のお陰だということか? 歴史偽装国家・カルト国家日本の看護人としての米国のメンツを安倍が潰したということになるが、そのような彼の思い上がりこそが、「生きて虜囚の辱めを受けている」戦後日本人の恥だということになる。

3.11 以後も災害が多発している日本列島。「やはり、龍宮神の祟りでしょうかね?」といった友人がいた。「いや、だから SDCC は頑張っているのです」と答えたのだが...

海勢頭豊 (うみせど ゆたか : SDCC 共同代表)



# 現地情報 名・護 十・ゴ

名護東海岸の魅力を  
引き出す若者パワー

## フラワーフェスティバル2014

3月15日、フラワーフェスティバルでにぎわう、わんさか大浦パークに行ってきました。

ここで就業研修をしているインターン生のおひとりにお話を伺うことができました。

子どもの頃から、人と自然とが仲良くしていける社会を作りたいと願っていた彼が、今力を入れているのは、“嘉陽田んぼプロジェクト”。嘉陽は名護東海岸にある人口80名の集落で、以前は稲作が盛んでしたが、今はほとんどの水田が遊休地になっています。

学生が地域の方々と一緒に、開墾・田植え・収穫することで、自然の恵みに感謝したり、農村の生活を身近なものにするこのプロジェクト、1月に12名の若者が集まって代掻き(\*)を終え、着々と進行中。ゴールは収穫した稲藁で作った綱での綱引きです。

最後に、嘉陽の魅力は?と聞くと、「食費がかからないこと」。かぼちゃを炊いたから、サーターアンダギーを揚げたから、と差し入れに事欠かないそうです。人も自然もやさしい東海岸に、若者が集まってきています。

(関西 山根富貴子)

\*注:代掻き(しろかき)とは、「田植えのために、田に水を入れて土を砕いてかきならす作業」のことです。



@わんさか大浦パーク

「オープンガーデン」は地域の一般の方がお庭を開放する地域の住民参加型イベントで、地域の再発見にもつながります。今後、参加者・訪問者とも増えそうです。



27軒のお庭1軒1軒に名札がかかっています



### おきなわ便り

## ☆ドンキホーテと那覇公設市場☆

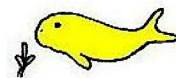
国際通りの中央にドンキホーテがオープンしました。

那覇公設市場へ行く通りにあるので「公設市場で良質の生姜を買い→ドンキホーテで日用雑貨を買う→国際通りをテクテクと歩いて帰る」が日課となっています。

これまで公設市場は、行事や法事などの食材を調達に行くところでした。

まさか日常に公設市場へ行く、沖縄ガイドブックにあるような生活を私がするなんて! 不思議な気持ちです。

伝統的な市場と近代的なドンキホーテ。このトラボはメリ



ハリがあり、沖縄と本土の店に同時に行ける新しい感覚で楽しめます。

ちなみに、国際通りを日用品持って歩くことに最初は抵抗があったので、ドンキホーテの店員に「うちな〜んちゅで日用品を買いに来る人いますか? 駐車場無いからあんまりいないでしょ?」と聞いたところ「いっぱいいますよ」との回答!

「そうなんだ。いっぱいいるんだ!!」この回答で私の考え方が180度変わり、今は国際通りで日用品を持って歩いてても平気になりました。(沖縄 仲村)

## ★ 宮良瑛子展 SDCC 観賞ツアーのご案内 ★

沖縄在住の画家・宮良瑛子さんの個展が、県外で初めて開催されます。福岡県生まれの宮良さんは、1971年から夫の故郷である沖縄で一貫して平和を追求した制作活動を続けてきました。展覧会では、一人の女性画家が沖縄の現実と向き合う中で芸術として結晶させていった「辺野古」をはじめとして多くの作品が展示されます。また、本展覧会のために宮良さんは、新作品も製作中です。SDCCは、賛同団体として展覧会開催に協力しており、鑑賞ツアーを実施します。

宮良瑛子展開催期日・・・4月19日から7月12日

場所・・・原爆の凶・丸木美術館（埼玉県東松山市唐子1401）

0493-22-3266

SDCCの鑑賞ツアーは5月24日（土）。池袋駅9時40分集合です。（首都圏 宮城）



宮良瑛子展 MIYARA EIKO

沖縄 愛と平和とー

2014年 4月19日（土）～7月12日（土）

埼玉県東松山市唐子1401 丸木美術館

SDCC 賛同団体 丸木美術館

## 《 今後のスケジュール 》

### 【首都圏】

- ・4/18（金） 防衛省・環境省・外務省との交渉
- ・4/19-20 アースデイ東京2014@代々木公園

### 【関西】

- ・4/6（日） 秘密保護法反対！ロックアクション 14時～ @扇町公園
- ・4/10（木）、4/24（木）じゅごん茶話会 14時～15時半 @関西事務所
- ・4/27（日） ワークショップ「ジュゴンと沖縄の海」 14時～16時 @きしわだ自然資料館
- ・5/11（日） 第4回ジュゴン連続学習会 フィリピン・ジュゴン・スタディツアー報告会 14時～16時 @ドーンセンター 資料代500円

## ＜第14回総会方針・決算案の概括＞

今年は辺野古埋立工事の実施設計・調査活動が行われる1年です。夏ごろに防衛省が予定する海底ボーリング調査に反対する世論づくりが活動の軸になります。具体的には、①埋め立て反対署名の継続、②4月18日政府交渉（予定）、③6月ジュゴンの里（沖縄）ツアー、④9月15日ジュゴンでトレイン、⑤ジュゴン訴訟での工事差し止め請求や、⑥UCNへの働きかけ、⑦9月東恩納琢磨名護市議の再選、11月沖縄県知事選挙勝利などで稲嶺ススム名護市政を支えます。

決算案では、事業活動が缶バッジや一筆箋に加えて、海勢頭豊代表著作の本販売などで約15万円増、会員が62人拡大、名護市長選挙カンパをふくめて12万円増。また、印刷費の減（昨年は一筆箋製作で20万円）などの緊縮会計にしました。収支は265万8780円-222万3540円=43万4240円の黒字。借入金47万4560円の一部20万9750円を返済し、22万5490円を翌年度に繰り越します。（詳細は次号に掲載します）

## ※第9回じゅごんの里ツアー（沖縄）

\*今年も、辺野古現地を訪れるスタディツアーを開催します。素晴らしい自然に触れ、地域の方々と交流するツアーです。ぜひ一度ご参加ください。

日程：6月27日（金）～29（日）

ツアー費用 関西発着 65000円（予定）

東京発着 75000円（予定）

※費用内訳：飛行機・宿泊2泊・船・ガイド料・レンタカー・保険・食事（1日目の夕食～3日目の昼食まで）

※申し込み締め切り 5月末日 現地参加6/17（火）

※現地参加や部分参加については、下記事務所までお問い合わせください。

**Editor's Note** 大阪高石市の羽衣学園中学に、沖縄修学旅行の事前学習として、出張授業に出かけました。20年来修学旅行は沖縄とのこと。今年は、読谷で平和学習、東村で民泊、大浦湾でシュノーケル体験に取り組みます。沖縄の自然を体感し、基地の現状をしっかりと見てきてほしいと、「基地と沖縄」「沖縄ジュゴンの保護」の二つのテーマでお話しました。実りある修学旅行に、少しはお役に立てたかなと思います。出張授業のご依頼お待ちしております。（山根）

ジュゴンちゃんぷるニュース VOL.73 2014年3月25日発行  
 ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)  
 〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1  
 第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377  
 ○ <http://www.sdcc.jp/> ○ [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)  
 (関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302  
 TEL/FAX 06-6353-0514

## 会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店

口座番号 普通 8159084

\*ちゃんぷるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします\*  
 お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!